

聖母の被昇天

第一朗読 黙示録 11・19a、12・1 - 6、10ab

第二朗読 一コリント 15・20 - 27a

福音朗読 ルカ 1・39 - 56

2021.8.15

高円寺教会 11:00 ミサ

ジョン・ジュン神父 (クラレチアン宣教会)

クリスチャンの友達がかつてわたしにこう尋ねました。「何故カトリックではないつもマリア、マリアと言ってお祈りするのですか？彼女がそんなに重要ですか？神様が最初ではありませんか？」

皆さんはもしこのような質問をされたらどう答えますか？

わたしの答えはこうです。

「完全な家族には女性がいなくてははいけません。その女性こそお母さんです。マリア様がいらしたのでイエス様は完全な家を所有することができました」。

皆さんはご存知でしょうか？世界で一番の家とは何ですか？どこですか？

それはお母さんの体内です。お金はかからないし、温かいし、食べるものの心配もなく幸せですね。

母親になることがどれほど難しいかを知る必要があります。母親の胎内から生まれるまで、大きな負担があります。ずっと一緒に9ヶ月を過ごします。母親と胎内の子供は繋がっているので、お母さんの考えや動作、食べ物、習慣等いろいろと子供に影響します。

ですから、当然イエス様もマリア様の胎内で成長するのですから、マリア様の人生を離れることは出来ません。

母親になることは大変だと思います。マリア様もお母さんとしてとても苦勞し、いろいろ大変な経験をなさり、試練を受けました。マリアは聖なるものを妊娠した後、石打ちで殺されそうになりました。出産する時には、病院もなく、看護師もなく、ベットもなく、飼い葉桶で産みました。その後の大変な事件は、子どもたちを殺そうとするヘロデ王からエジプトへ逃げます。旅行ではなく避難です。その後何

年かを過ごし、ヨセフが亡くなりマリアはシングルマザーになってしまいました。でも悲しみは終わることなく息子であるイエスは殺されてしまいます。

マリアの人生は本当に言葉で述べることは出来ませんが、もし二つの言葉を借りるならば、

一つ：苦しみ、いろいろな苦難を負いました。いつも頑張りましたが、でもどんな力が彼女を支えていましたか？それは信仰です。この信仰はいつも神様を信じて、神様の声を聞いて行っていました。

もう一つ：それはミッションです。母親の役割はミッションだと思います。子どもたちを産み、育て、教え導きます。

ちなみに、忘れないでください。エリザベートも苦しんだ女性です。年を取って妊娠し産んだ子どもヨハネは殺されます。

エリザベートがマリアに会ったとき、胎内の子は踊りました。二人の子どもの将来には既にミッションがありました。

最後に、ヨハネの黙示録の中で、マリア様は普通の女性、でも彼女はキリスト信者の代表です。彼女の産んだ子は復活したイエス、赤い竜は神様に反する物の象徴です。最後の勝利は、神様が救いの計画を完了し、新しい国を確立したということです。新しい世界はイエス様が産まれたところに始まりました。

今日、マリア様の被昇天の祝日に当たり、母であるマリア様にわたしたちをイエス様の近くに連れて行ってくださるよう祈りましょう。